

## スクミリンゴガイ防除対策研修会が開催されました

2020年12月16日に、令和2年度スクミリンゴガイ防除対策研修会が野洲市さざなみホールで開催されました。本研修会は、近年被害が拡大しているスクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）の防除について理解を深めてもらうことを目的とされており、参加者は60名でした。

研修会では、(1) 全国におけるスクミリンゴガイの被害と対策の状況、(2) 具体的な防除技術、(3) 地元NPO法人による防除活動、(4) 滋賀県における被害と防除技術実証ほの取組、について発表がありました。このうち、『(4) 滋賀県における被害と防除技術実証ほの取組』を当所が担当し、近年の暖冬により越冬個体数が多いと考えられることや、耕種的防除や薬剤防除の実証ほを野洲市内に設置し、防除効果を確認する予定であることを述べました。

その後、近隣の現地ほ場において、耕種的防除の一つである冬期の低速耕うんの実演が行われました。トラクタのロータリの回転数を上げ、低速で走行して耕うんすると、地中に潜っているスクミリンゴガイの殻を破壊できることを確認しました。

スクミリンゴガイの生態や特徴、主な防除対策については、本ホームページに資料（下記URL）を掲載していますので、ぜひご参照ください。

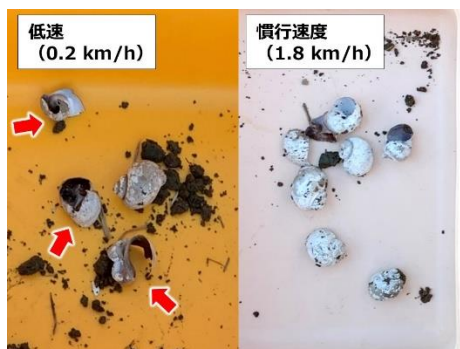
<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/yosatsu/yosatsuzuyouhou/315695/>



当所職員による発表



現地ほ場での冬期低速耕うんの実演



低速耕うんにより破壊されたスクミリンゴガイの殻  
(ほ場で見やすくするため、白く着色したもの)